

市議会だより

第70号

H30.8.15 発行

発行：飯山市議会

編集：議会だより編集委員会

TEL：0269-62-3111

FAX：0269-62-0005

HP：http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/

E-mail：gikai@city.iiyama.nagano.jp

平成30年9月定例会 会期日程（予定）

- ◆招集・議案上程
8月24日（金）
- ◆一般質問
8月31日（金）
9月3日（月）
9月4日（火）
- ◆予算決算常任委員会
9月5日（水）
9月6日（木）
9月7日（金）
9月10日（月）
- ◆総務文教常任委員会
産業民生常任委員会
9月10日（月）
- ◆委員長報告・採決
9月12日（水）

議事を傍聴しませんか!!
議場は市役所5階です。
傍聴席入口からお入りください。

飯山市文化交流館「なちゅら」で開催 第65回東北信9市議会正副議長会



7月5日に飯山市文化交流館「なちゅら」において、第65回東北信9市議会正副議長会が開催されました。

今回は、一般財団法人自治研修協会との共催で、政策形成支援セミナーも開催し、自治体行政学を専門とされている東京大学法学部教授金井利之氏から「これからの自治体議会に求められる議員像・議員力」について講演いただきました。

講演では、自治体議会の課題について、
○議会・議員不信は深刻
負の悪循環：不信↓議員多い。報酬高い↓定数・報酬削減↓活動低下↓活動見えないう不信 との負の螺旋階段から離脱することは極めて難しい。
○なり手不足
地方圏小規模自治体に現実不起きている。なり手不足ゆえ、有象無象の人物でも立候補すれば当選する可能性↓問題議員を生み出す背景。

○2つの議会パッケージ論
議員のなり手不足が深刻化するなかで総務省は2つの議会モデルを示す。現実の小規模自治体は、すでに、少人数で短時間・低報酬なので、変形しようがない。

○予算議会
予算審議の難しさ。修正権の限界？一般に、減額修正は可能、増額修正はできないと考えられている。議会は予算増額修正を妨げない。実は、議会に増額修正権はある。但し、首長の予算提出権限を侵すことはできない。
など講演いただきました。



長野県市議会議長会 総会

第160回長野県市議会議長会総会が7月12日中野市で開催されました。

須坂、中野、飯山3市議会共同提出の「教育の情報化に係る支援の拡充について」（飯山市議会議長が提案説明）を含め各市議会から提出の4議案はいずれも原案のとおり可決されました。



長野県市議会議長会 県議会陳情・県知事要望

7月12日の県市議会議長会総会で可決された議案について、23日に県市議会議長会副会長である佐藤議長も参加し、県議会議長へ陳情および県知事へ要望を行いました。



6月定例会一般質問

6月15日～19日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載となりますが、内容につきましては各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。



子育て支援について・集落維持について



渡辺美智子議員

問 子ども館運営について病後と判断する指針は何か。希望人数の把握、対象児は。

答 かかりつけ医から診療情報提供書を作成提出。希望のある保護者は事前に登録、利用する際は前日までに予約。対象は満1歳以上の保育園・幼稚園等に就園している園児。

問 運営委員会の構成は。

答 利用者や保護者代表も入っていただき構成する予定。

問 いいやま愛（い）ナビの登録数および利用状況は。

答 378件で利用見込者の5割強が登録。概ね予防接種のスケジュール管理に使われている。

問 小中学校の就学援助受給者の給食費補助を8割から10割に出来ないか。

答 県下19市中9市で実施。引き続き検討したい。

問 人口の減少により集落維持が困難。特に道路・水路の維持管理をどうするか考えを。

答 自治組織としての機能が衰退してきている。現状の課題についてアンケートをとって区長会とも相談し、早急に取り組んでいきたい。

道の駅花の駅千曲川について



西澤一彦議員

問 道の駅が大変な賑わいを見せている。年間108万人が訪れ、農産物直売所利用者は25万人、レストランは6万人のお客様があるとの事。北海道深川市の道の駅では、地元米を使った、釜炊き銀シャリ定食が、北海道屈指の人気を誇る道の駅に押し上げた。そこで飯山。食味コンクール日本一の米。釜炊きごはん定食をぜひ開発すべきと考えます。

答 地元産の米、野菜を使用した料理を各種開発し好評だが、ただ今の意見を含め、魅力的な料理を提供するよう働きかけていく。

問 道の駅は今後、交流の拠点の場になり、地域の産業振興、観光案内にも、さらに大きな役割を果たすと考えるが、今後道の駅のあるべき姿をどのように考えるか。

答 千曲川が前面を流れ、景観が素晴らしく、人気がある。交流、産業の拠点として拡張を計画している。また、自転車、カヌー等アクティビティの拠点にしたい。

木質バイオマス発電所の対応について



高山恒夫議員

問 正しい情報を伝えていくべきではないか。

答 常盤地区へは企業側から詳しい説明をしているが、広く市民へ説明会等の開催で正確な情報を発信していく。

◆通級指導教室について
問 4月からの担当教諭2人体制に期待する。

答 通級指導が受けられなかった飯山小以外の児童へも巡回指導が可能となる。

◆会計年度任用職員制度について
問 制度改正で嘱託職員等の処遇はどう変わるか。

答 時間外勤務手当などの他に一定の条件で期末手当等も支給できる。平成32年度施行に向けた新制度に適切に対応していく。

◆老人クラブ活動について
問 老人クラブの充実が必要ではないか。

答 高齢者の方の増加、価値観も多様化している。老人クラブは高齢者の活動の選択肢の一つであり、住み慣れた地域で末永く暮らしていくためしっかりと応援していく。

木質バイオマス発電は本当に安全か



飯田健一議員

問 NPO法人の有識者は「燃料木材の不足から放射能汚染木材の使用はありうる」と言っているがいかがか。

答 会社の安全管理の面からも、あるいは運搬コストの面からも絶対ないと回答している。

問 全くないとは言えないと思うのですが。

答 企業が実際にこれで事業を行うとなれば当然ながら市と協定を結ぶ。その協定の中では、放射能汚染された原材料は搬入しないと、協定を結んだ上でも更にチェックすることを考えている。

◆運転免許証自主返納者支援施策の取り組み
問 標記について市で検討された内容は。

答 現在、県下他市の運転免許証返納に係る支援制度を調べている。引き続き高齢者による事故防止と、公共交通機関の利用増進につながる支援策、条件整備をどうするかを交通事業所、市民とともに研究を進めていきたい。

答 他の施設の整備計画、あるいはインシャルコスト、ラニングコスト等も含め総合的な部分について研究していきたい。



野球・サッカー公式試合できる芝グラウンドを!!



江沢岸生議員

問 野球、サッカーの愛好者や観光関係者の長年の強い要望に応え、胸を張って公式試合ができる芝のグラウンド整備を早期に実現すべきではないか。

答 サッカー関係団体および民宿関係者より設置要望をいただき、瑞穂グラウンドを芝生化したところ。本格的な芝生グラウンドは、競技団体の利用状況、観光関係の経済的効果、芝化の維持管理経費、岳北地域全体のスポーツ施設の整備状況等、総合的に勘案する中で研究していきたい。

問 総合的に研究する段階は過ぎていないかと思う。もう一回回答を頼みたい。

飯山城址公園はまちなか観光の拠点



上松永林議員

◆高校生に栄誉賞を!
問 全国高校生弁論大会で優勝した学生に栄誉賞を。

答 快挙であり、授与を検討する。

◆雇用ビジネス推進課
問 新設の意図は。

答 移住・定住者、帰郷する若者の雇用の推進。地域資源を掘りおこし収入につなげる等。

◆「雨池」について
問 雨池堤体下の道路の陥没箇所は応急工事でのいだが、堤体の補強と併せて早急な対策を。

答 地元区と相談し雨池と周辺の環境整備を進めたい。

◆飯山城址公園の整備
問 神社庁との交渉や地元との話し合いを行うべきでは。

答 地元では検討委員会を立ち上げるということで、現在打ち合わせをしている。

◆「子ども館」について
問 内覧会の様子はどうか。

答 2日間で570名の入場。きれいで広い等好評であった。

問 「上町児童センター」の後利用は。

答 上町公会堂として利用できると、市で整備をする。

後期基本計画の重点目標について



山崎一郎議員

問 今年スタートした基本計画の重点目標である「若者が住みたくなるまちづくり」を実現するために、3月議会でご提言した保育料の無償化に取り組むべきと思うが。

答 国の動向を注視しながら保育の無償化だけでなく、市独自の各種の支援策を検討して参りたい。

問 若者が「ふるさとを愛しふるさとに帰る」という重点目標がある。大変重要なことだがそれには何が大切か。

答 大人が地域活動などを通して、生き生き楽しく生活している姿を見せることで、一旦は離れた子供たちも、やがては飯山の良さに気づき帰って来ると考えている。

問 NHKで放映された富倉出身の丸山邦雄さんの偉業は飯山の誇りだ。顕彰する取り組みを提言する。

答 戦後、旧満州に取り残された170万人の日本人の救出に尽くされた丸山邦雄さんのご功績を顕彰し、広く内外にアピールして参りたい。

木質バイオマス発電所立地について市の考え方



松本淳一議員

問 大型にはいろいろな問題があると思われる。市は大型のバイオマス発電を推進したいとの考えか。

答 7000kwは定義では中型になる。進出したい企業の要望に基づき、施設の有効活用ができれば良いと考える。

◆地産地消・経済循環を軸とする飯山市エネルギー戦略立案の必要性

問 長野県エネルギー戦略では地元資本を重視している。このことをどう考えるか。

答 地元資本の活用は大切な視点と考えている。再生可能エネルギー普及に向け県と考えていきたい。

問 市は小型の分散型熱利用を推進すべきで7000kwは考え直すべきと思うがどうか。

答 工業団地への企業誘致活動として、バイオマス発電施設の誘致を進めている。

◆地元高校への財政支援

問 本年開始した支援は何か。

答 高校生チャレンジ活動支援事業で、予算は10万円。

国道403号拡幅工事について



荻原洋平議員

問 移転による人口減に戸別の間取りや住民のフォローは。

答 建設事務所と連携し、関係者の意向調査を進める。

問 居住者の移転先の土地の確保と整備が急務では。

答 関係者の意向調査を踏まえ、建設事務所と協議し代替地の調査確保を進める。

問 移転先の生活再建では従前の生活状態に応じた対応は。

答 移転関係者との対応で、新たな生活設計が準備できるように進める。

問 飯山市は、今後除雪オペレーターの人材確保と支援をどうするか。

答 除雪関連団体と協議の中で具体的な施策を検討する。

問 オペレーターの労働環境改善を図るには。

答 除雪関連団体とも連携して検討していく。

総合防災訓練実施計画について



竹井政志議員

問 想定では「原子力事故が発生、飯山市民に屋内退避が必要」とされているが屋内退避が困難な場合の対応は。また原子力災害に対応する訓練要項を早急に作成すべきと思うが。

答 広域的な避難に備え他市町村との具体的な体制づくりを検討中。原子力災害の防災訓練の必要性は感じているが現段階で実施の予定はない。

◆政府の第5次エネルギー基本計画について

問 計画案は2050年度に向けた戦略も加え原発を「脱炭素化の選択肢」と位置づけ、30年以上先も原発に固執するもの。柏崎刈羽原発に最も近い飯山市の市長の受け止めは。

答 再稼働するには福島原発事故の3つの徹底検証が必要。①事故原因②健康・生活への影響③避難計画。

◆子ども議会について

問 昨年実施した未来の飯山をつくっていく「子ども議会」の評価は。

答 小中学生の鋭い視点から重要な意見を聞くことができた。実施の恒例化は現場の先生方と相談し検討したい。

遊具の管理について



浅川芳三議員

問 市内の遊具の状況をどの程度把握しているのか。

答 都市計画決定されている公園の遊具、条例により設置されている遊具、保育園・小学校と土地開発公社による造成地内のミニ公園の遊具の状況は点検・管理し把握している。

問 市で管理をしている遊具の安全点検はどの様な基準で点検を行っているのか。

答 保育園は、年1回専門業者による点検と月1回の園長による点検を、小学校内の市の設置した遊具は、月1回職員による点検を行っている。

問 市以外で設置したと思われる遊具で、管理すべき者が定かでない遊具についてはどの様な方針で対応しているのか。

答 設置者に対し適切な管理を依頼している。

問 秋津小学校の敷地内の木製の遊具が、老朽化しており危険になっている。この施設は市の設置ではない。このような事例への対応方を早急に検討し対応してほしいものと思うがどうか。

答 早急に実態を調査のうえ対応するよう検討する。

道路維持費の増額を!



久保田幸治議員

問 道路環境全体を見渡した対応がされていない。どのような点を重点にパトロールを実施しているのか。

答 今後は道路環境全体を保全するといった意識を持ちながらパトロールを実施する。

問 維持管理費の増額と、用途箇所に費用が見える維持管理費としていくべきでは。

答 9月補正と新年度予算で「見える化」とする対応を検討する。

◆観光局について

問 市民に理解されるうえで、観光局は独立した事務所を構え営業していくべきと考えるが。

答 観光局は一般社団法人で独立した活動するのが本来の姿と理解している。意見を聞きながら検討する。

問 市の人員体制も十分といえない状況の中で市職員は引き上げ、独立した事業活動をしていくべきと思うが。

答 民間法人として柔軟な発想やスピード感で盛り立ててほしい。体制整備を見ながら市職員の引き上げも検討していく。

総合戦略の見直しと市道の改修計画について



小林喜美治議員

◆総合戦略の見直しについて

問 平成30年3月28日の検証会議において目標人口および施策等の目標値が訂正された。目標人口および、施策等の目標値変更の経緯について、重要な項目、施策が下方修正されている。見直しによって目標が達成できるのか

答 総合戦略最終年度平成31年度の人口目標などを下方に修正したもの。全体35事業のうち目標値を上げたものがふたつで、その他は下方修正した。各数値の決定には、検証会議の中でしっかり検討した内容である。下方になったのは現状をよく直視する中で適切な数字だろうということで見直したものだ。

◆市道の補修計画について

問 市道の維持管理の改修計画と現在の改修補修箇所は。

答 平成26年に実施した道路舗装点検によって、平成32年までの計画を立て実施している。おおむね1年間で12〜15か所5年間の計画で実施している。その他劣化が顕著なところ危険があると判断した場合その都度補修をしている。

西大滝ダム「河川法違反」について



市川久芳議員

問 東京電力は西大滝ダムをダムとして認めない、現行の河川法では、15m以上をダムと称して、またダムとしての管理が義務付けられている。しかし東京電力は、14.243mとして偽っている。東電はゲートの天端(常時満水面)をダムの高さとしている。法に基づき西大滝ダムの高さは21.212mであり、間違いなく虚偽の報告をしているが、市長にその認識はあるのかお聞きしたい。

答 許認可権限を持つているのは国土交通省。更新の許可も出ており、国ではこの件は違法ではないと認めているという理解である。

問 千曲川の直轄河川編入について、地元国会議員に要請して、2回の衆議院の国土交通委員会が審議され、前向きな閣議決定されていることを市長は知っているのか。

答 太田大臣は前向きな答弁をされたことは知っている。